

貴金属ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2024/04/22号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

ゴールド・シルバーの堅調続く

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



ゴールドの歴史的高値は、ドル建てでは更新ならずでしたが、円建てではふたたび更新となりました。金曜日の東京時間午前10時過ぎごろにイスラエルがイランを爆撃の一報でゴールドが一瞬にして買われてドル建てゴールドは2375ドルから2416ドルへ急騰、ドル建ての歴史的な高値は2430ドルなのでその更新はなりませんでしたが、円建てでは4月12日につけた11945円を超えて11972円をつけました。ただしこの上昇はまさに地政学リスクに対応した買いでしたが、その後事態がエスカレートしないことがわかり、このニュースで上昇した分はすぐに戻しました。それでもその堅調さは保って一週間が終わりました。米長期金利は一時4.7%直下まで上昇する場面があり、FRBパウエル議長をはじめとする理事たちは、米経済指標が好調なこと、インフレ率が期待通りに下がらないことから金利を下げるにはまだまだ時間がかかるというタカ派的姿勢に傾いているという、本来ならゴールドにとって逆風の吹くなかでの、歴史的な高値圏でゴールドがその堅調さを保っているのは、今回のこのゴールドの上昇相場の驚くべき特徴と言えるでしょう。中東での政情不安がそこに一躍買っているのは確かですが、それは前週の瞬間的な上昇に見られるようにそれだけではこの上昇相場を維持することはできません。中央銀行のゴールド買いは続いており、今年もまた多くの中央銀行が資産としてのゴールドを積み増す動きは明白です。そして新興国、特に中国においては、個人投資家の資金の向かう対象として、株式市場も不動産市場も不調にあり、その資金はゴールドに流れ込んでいます。この中国の買い（中央銀行そしてもっと巨大である個人投資家の買い）が、この金利やその他ゴールドに不利な条件を吹き飛ばしてゴールドを上昇させている原動力なのではないかと思えます。株式市場の下げでゴールドも若干の下げはありえるかもしれませんが、しかしそこはこういった方面に買われるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

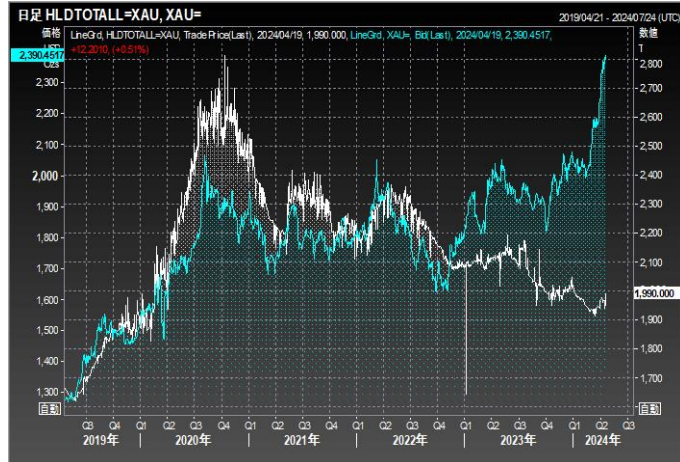
「シルバーの現状」

シルバーは29ドルで頭を打った形となっており、過去11年の間にシルバーが数回トライして超えられなかった天井が29ドルです。今回も同じように29ドルに跳ね返される形になっていますが、それでも28ドル台で上値をうかがう位置にあります。先週発表されたWorld Silver Survey2024では2023年のシルバー供給不足は続き、2024年もさらに大きな供給不足が予想されています。今回は29ドルを越えて30ドル台へ上昇しておかしくないでしょう。



「プラチナの現状」

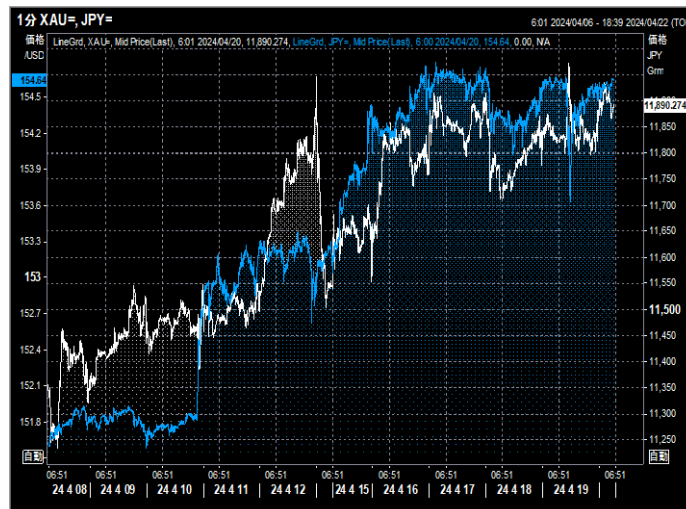
ゴールドとシルバーの堅調さと比べるとプラチナは残念ながらまた1000ドルに上昇を阻まれた形となりました。ゴールドとの値差は1450ドルを越えて過去最大となり、プラチナはやはり900-1000ドルのレンジに終始しそうです。



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

